

# いのうただたかきねんかん 伊能忠敬記念館だより No. 2

## お知らせ

記念館では、特別展『伊能図里帰り展Ⅱ』を10月3日（火）から11月26日（日）まで開催します。

伊能忠敬と弟子たちがつくった伊能図は、日本全国に残っています（**なんと!**外国にもあります。アメリカ・イギリス・イタリアなど）。記念館では、各地に残っている伊能図を借りてきて、皆さんにお見せするため、今回の展示を行います。

茨城県古河市に鷹見泉石という人がいました。古河藩の家老（殿様の次に偉い人）まで勤めました。泉石は、今から約170年前の江戸時代に、伊能図を写しました。

1829年7月16日から写し始めて23日まで、なんと8日間で一枚の伊能図を正確に写し取りました。また、外国のことについて、とても興味があり、外国の品々をたくさん集めました。

今回の展示では、鷹見泉石が集めた資料も展示します。



鷹見泉石

## 『クイズ忠敬』に挑戦しよう

(1) 「三治郎 (忠敬)」は何歳の時にお父さんの  
もとに帰ってきましたか？

- ① 7歳 ② 10歳 ③ 17歳

(2) 忠敬は何人兄弟ですか？

- ① 1人 ② 2人 ③ 3人

(3) お父さんの実家は今のどの町ですか？

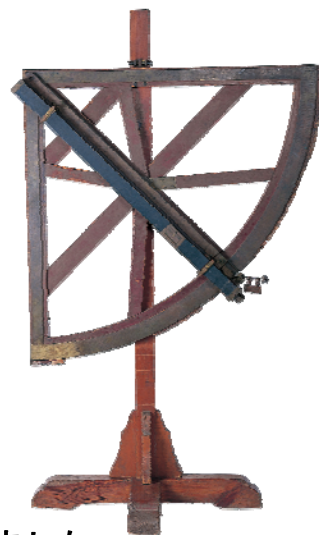
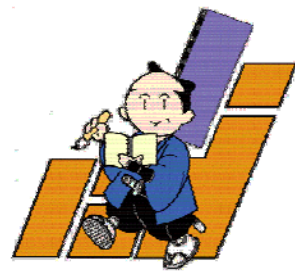
- ① 大和市 ② 九十九里町 ③ 横芝光町

(4) お父さんの実家の名前は？

- ① 神保家 ② 青木家 ③ 香取家

(5) 何歳の時に伊能家に来ましたか？

- ① 17歳 ② 20歳 ③ 50歳



しょうげんぎ  
象限儀 (中)

かんそく  
星の観測に使いました

## 伊能忠敬物語(2)

10歳になり、お父さんの実家である小堤村 (現在の横芝光町) に帰りました。

お兄さん・お姉さんとともに家族の生活が始まりました。お父さんの実家の神保家

は、お父さんのお兄さんが家を継いでいました。このあと 17歳で佐原の伊能家に

婿養子に入るまでのことについては、実はあまりよくわかっていません。忠敬が大

人になって語った言葉として「土浦のある医師に習って勉強した」ということくら

いしかわかっていません。しかし、佐原で1・2を争う大きな商人の家である伊

能家に婿養子として迎えられるくらいですので、たくさん勉強をしてきつと立派な

青年であったのだと思われます。

伊能忠敬記念館だより No. 2 発行日 平成 18 年 9 月 20 日

発行者 伊能忠敬記念館

〒287-0003 香取市佐原イ 1722-1 電話 0478-54-1118 FAX 0478-54-3649

クイズの答え (1) - ②、(2) - ③、(3) - ③、(4) - ①、(5) - ①